

2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年5月14日
東

上場会社名 株式会社フリースタイル 上場取引所
 コード番号 528A URL https://freestyles.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)青野 豪淑
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部長 (氏名)土屋 昌司 (TEL) (052)222-3200
 定時株主総会開催予定日 2026年6月25日 配当支払開始予定日 -
 発行者情報提出予定日 2026年6月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	1,879	7.5	△95	-	△91	-	△62	-
2025年3月期	1,747	20.2	54	△9.1	56	39.2	37	14.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	△62.80	-	△25.5	△9.9	-
2025年3月期	37.09	-	14.3	7.1	3.1

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 - 百万円 2025年3月期 - 百万円

- (注) 1. 当社は2025年6月27日に普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。上記では、2026年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。
 2. 2025年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。2026年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、また1株当たり当期純損失であるため、記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	1,026	215	20.9	215.60
2025年3月期	813	276	33.9	276.64

(参考) 自己資本 2026年3月期 215百万円 2025年3月期 276百万円

- (注) 当社は2025年6月27日に普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。上記では、2024年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	△127	△221	296	353
2025年3月期	47	△2	△14	404

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	0.00	0.00	0.00	-	-	-
2026年3月期	0.00	0.00	0.00	-	-	-
2027年3月期(予想)	-	-	-	-	-	-

- (注) 配当予想につきましては、現時点では合理的な算定が困難であることから未定としております。今後、業績動向等を踏まえ、開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,932	2.8	98	—	99	—	66	—	66.11

※ 注記事項.

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | 無 |
| ④ 修正再表示 | 無 |

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期	1,000,000株	2025年3月期	1,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期	—	2025年3月期	—
③ 期中平均株式数	2026年3月期	1,000,000株	2025年3月期	1,000,000株

（注）当社は2025年6月27日に普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。上記では、2026年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(持分法損益等)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の回復を背景に、緩やかな回復基調が継続いたしました。設備投資についても、デジタル関連投資や省力化投資を中心に底堅く推移しております。一方で、円安基調の継続に伴う輸入物価の上昇、原材料・エネルギー価格の高止まり、さらには国際情勢の不安定化や海外経済の減速懸念などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。当社の主力事業であるITソリューション事業が属する情報サービス業界におきましては、企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）推進を背景に、引き続き堅調な成長が見られました。生成AIの業務活用の本格化、クラウドサービスの高度化、ゼロトラストセキュリティの浸透、ならびにノーコード・ローコード開発の普及など、技術革新は一層加速しております。また、Windows 10のサポート終了によるシステム刷新需要や、インボイス制度及び電子帳簿保存法への対応を契機としたIT投資の拡大により、中堅・中小企業におけるIT導入意欲も引き続き高い水準で推移いたしました。

また、国内のゲーム市場については、ファミ通ゲーム白書2025によると、2024年の市場規模は2兆3,961億円（前年比3.4%増）と堅調に推移しております。さらに、今後の見通しとしては、2025年に2兆4,530億円、2026年には2兆5,510億円規模へと拡大が見込まれており、引き続き成長が期待される分野となっております。

こうした事業環境のもと、当事業年度（2025年4月1日から2026年3月31日まで）においては、事業の拡大に伴い、ITソリューション事業における人件費の増加、及びゲーム事業における受託開発や新規タイトルの開発に伴う外注費の増加がありました。加えて、株式会社東京証券取引所 TOKYO PRO Market上場に向けた準備の進展に伴い、管理体制の強化やガバナンス整備を目的とした管理部門の拡充、ならびに監査対応等に係る費用が発生しております。

これらの費用は上場会社としての事業運営に必要な基盤のコストであり、上場後も一定程度継続するものの、事業規模の拡大に伴う収益力の向上により吸収可能な水準で推移するものと見込んでおります。また、今後も業務の効率化や体制の最適化を進めることで、適切なコストコントロールを図りつつ、持続的な成長と企業価値の向上に取り組んでまいります。

その結果、当事業年度の売上高1,879,771千円（前年同期比7.5%増）、営業損失95,548千円（前事業年度は営業利益54,452千円）、経常損失91,396千円（前事業年度は経常利益56,118千円）、当期純損失62,808千円（前事業年度は当期純利益37,092千円）となりました。

セグメント別の業績の概要は次のとおりです。

〈ITソリューション事業〉

堅調なIT人材の需要を背景に業界環境は引き続き好調に推移いたしました。2025年10月、大阪府を中心とした商圏市場開拓の為に大阪オフィスを開設しました。当社では、特に広告媒体を活用した積極的な採用活動や、ITスキル習得を支援する社内研修・資格取得奨励制度の整備、顧客先常駐社員との定期的な1 on 1面談やメンタルケアの導入を通じて、離職率の低下等を主要KPIとして取り組んでおります。

これらの結果、売上高は1,487,033千円（前年同期比9.2%増）、セグメント利益は301,560千円（前年同期比0.7%増）となりました。

〈ゲーム事業〉

当事業年度においては、自社IPタイトルである「オバケイドロ！」の運用改善・プロモーション活動を強化し、一定の収益基盤を維持いたしました。また、前事業年度からの取り組みとして他社IPであるスマートフォンゲームの受託開発を実施し、当社のゲーム開発・運営ノウハウを活かして開発実績を積み重ねました。さらに、2025年10月に「オバケイドロ2」をリリースし、エンジニアやデザイナーの人材を増員することで、今後の事業拡大に向けた基盤整備を進めました。

これらの結果、売上高は383,258千円（前年同期比0.5%増）、セグメント損失は7,645千円（前事業年度はセグメント利益49,968千円）となりました。

〈その他事業〉

その他の事業では、新規サービスに関する市場調査から開発、営業、販売までを担う「システム開発事業」、及び非IT業種への人材派遣を行う「派遣事業」を展開いたしました。

これらの結果、売上高は9,479千円（前年同期比746.7%増）、セグメント損失は37,537千円（前事業年度はセグメント損失8,696千円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当事業年度末における流動資産の残高は637,556千円で、前事業年度末に比べ18,576千円増加しております。

主な増加要因は売掛金の増加33,517千円等であります。

(固定資産)

当事業年度末における固定資産の残高は389,177千円で、前事業年度末に比べ194,406千円増加しております。

主な増加要因はソフトウェア勘定の増加159,569千円であります。

(流動負債)

当事業年度末における流動負債の残高は330,188千円で、前事業年度末に比べ30,229千円増加しております。

主な増加要因は1年内返済予定の長期借入金の増加33,990千円であります。

(固定負債)

当事業年度末における固定負債の残高は480,939千円で、前事業年度末に比べ243,788千円増加しております。

長期借入金の増加192,991千円、社債の増加50,000千円がその変動要因であります。

(純資産)

当事業年度末における純資産の残高は215,606千円で、前事業年度末に比べ61,034千円減少しております。

当期純損失62,808千円の計上による利益剰余金の減少が主な変動要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、127,242千円(前年同期比174,265千円減)となりました。

これは主として、税引前当期純損失90,465千円、売上規模拡大に伴う売上債権の増加額33,517千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、221,826千円(前年同期比219,667千円減)となりました。

これは主として、無形固定資産取得による支出195,018千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、296,981千円(前年同期比311,240千円増)となりました。

これは主として、社債の発行による収入100,000千円、長期借入金の借入による収入300,000千円によるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当事業年度末残高は、前事業年度末に比べ51,015千円減少し、353,377千円となりました。

(4) 今後の見通し

「1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況」に上述したとおり、当社が属するIT業界では各分野での急速な成長を続け、IT人材の需要が高まると考えられます。

以上により、次期業績につきましては、売上高は1,932,983千円(前年同期比2.8%増)、営業利益は98,173千円(前事業年度は△95,548千円)、経常利益は99,530千円(前事業年度は△91,396千円)、当期純利益は66,107千円(前事業年度は△62,808千円)になるものと予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、主に日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	404,393	363,377
売掛金	189,164	222,681
商品	411	5,985
前払費用	21,858	28,344
その他	6,303	20,267
貸倒引当金	△3,150	△3,100
流動資産合計	618,980	637,556
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	36,272	36,750
車両運搬具（純額）	0	—
工具、器具及び備品（純額）	6,019	12,834
土地	26,764	26,764
有形固定資産合計	69,057	76,349
無形固定資産		
ソフトウェア	549	160,118
ソフトウェア仮勘定	25,819	15,423
無形固定資産合計	26,368	175,541
投資その他の資産		
投資有価証券	13,198	15,945
出資金	10	10
長期貸付金	16,792	13,692
長期前払費用	2,611	4,582
繰延税金資産	14,853	41,878
保険積立金	46,923	49,900
その他	21,747	24,970
貸倒引当金	△16,792	△13,692
投資その他の資産合計	99,344	137,286
固定資産合計	194,770	389,177
資産合計	813,750	1,026,734

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	62,512	83,640
1年内償還予定の社債	30,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	37,554	71,544
未払金	97,284	99,939
未払費用	14,810	15,558
未払法人税等	5,110	—
未払消費税等	35,713	8,978
預り金	710	489
賞与引当金	15,983	—
その他	278	37
流動負債合計	299,959	330,188
固定負債		
社債	60,000	110,000
長期借入金	171,929	364,920
資産除去債務	5,221	6,019
固定負債合計	237,150	480,939
負債合計	537,109	811,127
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	264,516	201,707
利益剰余金合計	264,516	201,707
株主資本合計	274,516	211,707
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,124	3,898
評価・換算差額等合計	2,124	3,898
純資産合計	276,641	215,606
負債純資産合計	813,750	1,026,734

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,747,451	1,879,771
売上原価	1,336,210	1,480,451
売上総利益	411,240	399,319
販売費及び一般管理費	356,788	494,868
営業利益又は営業損失(△)	54,452	△95,548
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	882	1,186
受取賃貸料	2,663	4,241
貸倒引当金戻入額	2,011	3,150
為替差益	—	1,072
その他	555	1,602
営業外収益合計	6,112	11,252
営業外費用		
支払利息	2,677	4,594
社債利息	368	590
為替差損	193	—
支払保証料	1,123	1,760
その他	84	154
営業外費用合計	4,447	7,100
経常利益又は経常損失(△)	56,118	△91,396
特別利益		
固定資産売却益	—	930
特別利益合計	—	930
特別損失		
固定資産除却損	0	—
抱合わせ株式消滅差損	4,290	—
特別損失合計	4,290	—
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	51,827	△90,465
法人税、住民税及び事業税	15,560	340
法人税等調整額	△824	△27,997
法人税等合計	14,735	△27,657
当期純利益又は当期純損失(△)	37,092	△62,808

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金		株主資本合計
		その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	10,000	227,423	227,423	237,423
当期変動額				
当期純利益		37,092	37,092	37,092
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
当期変動額合計	-	37,092	37,092	37,092
当期末残高	10,000	264,516	264,516	274,516

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	1,817	1,817	239,241
当期変動額			
当期純利益			37,092
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	307	307	307
当期変動額合計	307	307	37,399
当期末残高	2,124	2,124	276,641

当事業年度(自2025年4月1日 至2026年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金		株主資本合計
		その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	10,000	264,516	264,516	274,516
当期変動額				
当期純損失		△62,808	△62,808	△62,808
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	△62,808	△62,808	△62,808
当期末残高	10,000	201,707	201,707	211,707

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	2,124	2,124	276,641
当期変動額			
当期純損失			△62,808
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	1,774	1,774	1,774
当期変動額合計	1,774	1,774	△61,034
当期末残高	3,898	3,898	215,606

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	51,827	△90,465
減価償却費	6,321	43,339
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,011	△3,150
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,995	△15,983
受取利息及び受取配当金	△882	△1,186
支払利息及び社債利息	3,046	5,185
抱合せ株式消滅差損	4,290	—
為替差損益(△は益)	193	△1,072
固定資産除売却損益(△は益)	0	△930
売上債権の増減額(△は増加)	△38,407	△33,517
棚卸資産の増減額(△は増加)	17,342	△5,574
仕入債務の増減額(△は減少)	7,841	27,675
その他	17,602	△34,594
小計	71,160	△110,275
利息及び配当金の受取額	1,048	1,332
利息の支払額	△3,101	△5,207
法人税等の支払額	△22,084	△13,092
営業活動によるキャッシュ・フロー	47,022	△127,242
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△10,000
有形固定資産の取得による支出	△1,894	△17,150
有形固定資産の売却による収入	21,772	930
無形固定資産の取得による支出	△25,819	△195,018
貸付金の回収による収入	4,808	5,850
敷金・保証金の返還による収入	2,161	△3,462
その他	△3,188	△2,976
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,159	△221,826
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△39,259	△73,019
社債の発行による収入	50,000	100,000
社債の償還による支出	△25,000	△30,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,259	296,981
現金及び現金同等物に係る換算差額	△193	1,072
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	30,410	△51,015
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	4,556	—
現金及び現金同等物の期首残高	369,426	404,393
現金及び現金同等物の期末残高	404,393	353,377

- (5) 財務諸表に関する注記事項
 (継続企業の前提に関する注記)
 該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)
 (セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象としているものであります。

当社は、「ITソリューション事業」、「ゲーム事業」の2つを報告セグメントとしております。

セグメント区分	主要業務
ITソリューション事業	SES事業（ITエンジニアの派遣） 営業支援事業
ゲーム事業	自社開発業務、他社企画ゲーム開発の受託、技術者の派遣

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用している会計処理に準拠した方法であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

なお、当社は資産情報を業績管理には使用していないため、資産を事業セグメントに配分しておりませんが、減価償却費等の関連費用は配分しております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又はその他の項目の金額に関する情報

前事業年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	調整額 (注2)	財務諸表計 上額
	ITソリューション事業	ゲーム事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,360,884	385,446	1,746,331	1,119	—	1,747,451
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,360,884	385,446	1,746,331	1,119	—	1,747,451
セグメント利益又は損失 (△)	299,208	49,968	349,176	△8,696	△286,027	54,452
その他の項目						
減価償却費	51	3,517	3,568	196	2,556	6,321
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	—	—	—	25,819	1,894	27,713

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

(注2) 調整額は各セグメントに配分していない全社費用であります。

当事業年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注1)	調整額 (注2)	合計
	ITソリューション事業	ゲーム事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,487,033	383,258	1,870,291	9,479	—	1,879,771
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,487,033	383,258	1,870,291	9,479	—	1,879,771
セグメント利益又は損失 (△)	301,560	△7,645	293,914	△37,537	△351,916	△95,538
その他の項目						
減価償却費	1,435	36,836	38,272	1,034	4,031	43,339
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,945	195,806	197,751	4,536	9,578	211,865

（注1） 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

（注2） 調整額は各セグメントに配分していない全社費用であります。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	276.64円	215.60円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	37.09円	△62.80円

- (注) 1. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できませんので、記載していません。当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、また1株当たり当期純損失であるため、記載していません。
2. 当社は2025年6月27日に普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。上記では、2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益又は当期純損失(△) (千円)	37,092	△62,808
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は 当期純損失(△) (千円)	37,092	△62,808
普通株式の期中平均株式数(株)	1,000,000	1,000,000
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	新株予約権1種類(新株予約権の数250個(普通株式250株))	新株予約権1種類(新株予約権の数250個(普通株式250株))

(重要な後発事象)

(資金の借入)

当社は、財務体質の強化及び運転資金の確保を目的として、2026年4月20日開催の取締役会において、金融機関からの借入による資金調達を行うことを決議し、当該決議に基づき、以下のとおり資金調達を実行しております。

借入の概要

(1) 借入先	株式会社名古屋銀行
(2) 借入金額	30,000千円
(3) 借入実行日	2026年5月1日
(4) 借入期間	定めなし(随時返済)
(5) 金利	変動金利 年1.65%(短期プライムレート連動)
(6) 担保等の有無	無担保、無保証
(7) 財務制限条項	なし

(1) 借入先	株式会社百五銀行
(2) 借入金額	30,000千円
(3) 借入実行日	2026年4月30日
(4) 借入期間	6ヶ月(ロールオーバー方式により更新)
(5) 金利	変動金利 年1.65%(短期プライムレート連動)
(6) 担保等の有無	無担保、無保証
(7) 財務制限条項	なし